

かごしま創志塾 8 期生感想文

「世界で必要とされる医師になるために」

私の将来の夢は小児外科医になり、外国で子どもの命を救う事だ。今回の創志塾で最も興味深かったのは JICA の活動についての講話だった。お金や品物を提供するだけでなく技術や教育を支援することが求められていると知り、まずは世界の実情を把握する事が大切だと学んだ。そのためにも世界に通用する語学力を身に付ける事が重要だ。今回学んだ事を忘れずに発展途上国で必要とされる医療を提供できる医師になりたい。

このような機会を下さった創志塾の先生や鹿児島市の方々に感謝申し上げます。

「これからの未来」

はっきり言って僕は、面倒くさがりだ。とにかく、自分のしたくないこと（特に宿題など）をいつも「後でやる…」と言って、後回しにしてきた。創志塾での講話「青年海外協力隊から世界を知る」で、僕たちが今一番、未来に近いと知った。また、近い未来に災害も悪化することを知り、僕は「自然保護官」になる大きな目標を持った。これからは、「後で…」と言ったりせず、目の前のやるべきことをして、これからの未来をこの手で掴んでいきたい。

「言葉のもつエネルギー」

「人間の心を動かすエネルギーは言葉である。」私がかごしま創志塾の中で最も印象に残っている南徹先生の言葉だ。創志塾に参加するまでの私は、挑戦したい気持ちと裏腹に、行動には出来ないでいた。その一方、創志塾で出会った仲間は志高く、積極性もあり、とても刺激を受けた。「私も変わろう！」そう誓った。それから創志塾の様々な講義を受ける度、先生方の言葉ひとつひとつが、私の心を動かすエネルギーとなり、私は変わることができた。これからもこの素晴らしい仲間との出会いに感謝し、創志塾での学びを生かしていきたい。

「夢に向かって前進」

私はこの創志塾で「行動すること」がどれだけ大切か感じました。ALT との交流、留学生とのカレー作りなどを通して特にそう感じました。また、講話の中でも、「死ななきゃ大丈夫」「AI 人間になるな」「人生はラーニングジャーニー」など、前向きで、背中をおされるような言葉がいくつもありました。

私は夢を現実にするために行動しようと思います。今までは、「これぐらいでいっか。」と途中で諦めてしまうこともありましたが、これからは違います。夢に向かって前進！

「知らない世界に出会うために」

何事にも挑戦しようと活動していたが、中学生生活は予想以上に忙しく、学級活動等は「誰かがやるから自分はいいや」と色々な場面で考えてしまうようになっていた。

「今の地球問題を作ったのは大人だけど、この問題を解決するのは君達だよ」と言葉の本質を創志塾の経験を通して知ることができた。このままでは、目の前にあるたくさんのチャンスを逃がしてしまうと感じ、反省した。

まずは、学級部長からチャレンジすることにした。小さなチャンスを掴み取り、まだまだ知らない世界に出会うために頑張っていこうと思う。

「知るということの大切さ」

私は、創志塾の活動や講話の中でたくさん「知る」ことができました。まず始めに友達と話すことの大切さを知りました。自分一人ではできなかった気付きを得ることができました。次に、新しいことを知る大切さを実感することができました。創志塾で行われたたくさんの講話は、私の知らないことばかりでとてもわくわくしました。創志塾に参加しなかったら得られなかった知識や経験はかけがえのない大切なモノになると思います。

この経験を将来、生かせるように1日1日を大切に過ごしていきたいです。

「夢に向かって！」

私の将来の夢は、「保育士」です。今回の創志塾でジュニア創志塾生と共に、白銀坂を登り、自分は保育士がっていると確信しました。また、多くの方々の講話を聞き、まずは何事にも挑戦し、最後まで諦めないことが大切だということを知りました。

今回学んだことを将来の夢の実現のため、今やるべき事ともう少し後でもいい事の区別をし、今しかできない事を一生懸命取り組もうと思います。そして、創志塾でたくさんのことを学ばせていただいた感謝を忘れず、夢に向かって1歩ずつ歩んでいきたいです。

「仲間と過ごした日々」

僕は、この創志塾で、「仲間の大切さ」を学びました。始めは、おもしろそうだなという簡単な気持ちで入塾しようと思ったのに、今では、とてもすばらしい仲間と共に、とてもすばらしいことを学びました。この出会いは僕の人生を大きく変えてくれました。これから先、どんなことがあっても、この創志塾で出会った仲間のことは、一生忘れません。この創志塾での学び、出会い、すべてが宝物です。僕は、大きな心の支えを見つけた気がします。

「創志塾で学んだこと」

今回の創志塾で私は、ALTの先生方、留学生の方、そして他の塾生との会話や意見交換からコミュニケーションの大切さを学びました。また、先生方の講話から自分の意見・夢を持つこと、それらをはっきり言う事の大切さを学びました。私は、創志塾で講話を聞いて色々学べたことで、今までよりもっと鹿児島県を誇らしく思えるようになりました。最初はなかなか友達ができなかったけど、一緒に活動をしていく中で、少しずつ友達ができてきて、活動がとても楽しくなりました。創志塾で学んだ沢山のことをこれから活かしたいです。

「夢実現に向かって」

僕は、創志塾に参加し、色々なことを学びました。今までの僕は、自分から手を挙げたり、代表になったりすることはありませんでした。でも、創志塾の仲間は違いました。自分の考えをしっかり持ち、積極的に行動することの大切さを知りました。南極観測隊の宮田敬博先生の「1 + 1 = 2 じゃない」という言葉からは、何事も決めつけず、想像を広げてチャンスをつかもうと思いました。僕の名前と同じ響きの創志塾で、学んだたくさんのことを忘れずに、夢実現に向かって努力していきたいです。

「創志塾で学んだことを生かして」

私は創志塾を通して、様々なことを知り、学ぶことができました。特に、いろいろな講話で自分の感想をみんな発表したり、グループ活動の時に与えられた役割をしたりして、人前ではきはきと自分の意見を伝えられるようになりました。その経験を生かして今は学年のリーダーをしています。私はそこでたくさんの人を支えることの大変さ、そしてやりがいを感じることができました。また、創志塾で学んだことを次は鹿児島の人たちに自分が伝えていけるような人になりたいです。

「視野を広げる」

私はかごしま創志塾に参加して視野が広がり、考え方も変わった。参加する前は今思えば視野が狭かった。だが創志塾に参加して考え方が 180 度変わった。物事を一方的には無く、色々な方向から見るができるようになった。私が考え方をええられたのは様々な言葉を知れたからだ。私が一番心に残った言葉は、宮原先生の「自分の限界を自分で定めない」という言葉だ。この言葉を知って私は色んな事にチャレンジする事の大切さを知ることができた。これからは、失敗してもあきらめずに様々なことにチャレンジしようと思う。

「夢に向かってホップ・ステップ・ジャンプ」

僕はこの創志塾で、様々な分野で活躍されている講師の先生方と関わり、よくマイナス思考になりがちだった自分の性格を、先生たちのご講演を聴き、前よりもポジティブ思考で物事を考えられるようになった。僕の夢は「診療所の医者になること」だ。離島のだれからも頼られる医者になり、病院の患者さんを助けられるようになりたいと考えている。この創志塾で学んだ「グローバルな視点で、鹿児島をリードする」という視点で患者さんと向き合い、患者さんの思いに応えられるような医者になりたい。

「次世代のリーダーとして」

私はこの創志塾でたくさんのことを学びました。地球がおかれている状況や、社会に出たときに役立つ情報など、普段の生活では学ばない事をこの創志塾で学ぶことができ、「みんなちがってみんないい」ことや、私の未来に多くの可能性があることに気づかされました。もし目の前に大きな壁が立ちわだかまったときは、創志塾で学んだ多くのことを胸に、壁を一つ一つ乗り越えていきたいと思います。創志塾の名にはじないよう、次世代のリーダーとして動いていきたいと思いました。

「新しい自分に」

私は、この創志塾でチャレンジする楽しさと新しい価値観や視野、考え方を得ることができました。そして高い志を持った刺激的な仲間と講師の先生方と出会うことができました。自分からチャレンジすることが苦手だった私も、回を重ねるごとに自分の気持ちに正直になり、チャレンジする楽しさを見い出せるようになりました。今では自分でも思うほど以前より積極的になりました。貴重な体験ができ、新しい自分に出会うことができた創志塾に、とても感謝しています。これからも高い志を持ってたくさんの方にチャレンジしたいです。

「創志塾で学んだこと」

私は、創志塾を通して大切なことを学びました。一つ目は、講師の先生方の話の中にあった「チャンスは自分からつかみに行く」ということです。何事にも自分から積極的に取り組むことの大切さが分かりました。二つ目は、みんなの意見を聞き、自分の意見を述べることです。みんなの意見を聞くことで違う視点から色々な考え方が出来るからです。そして、改めて話し合うことで、よりよい意見になるという事を感じることができました。かごしま創志塾で、出会った仲間や先生方の全ての人に感謝しています。

「出会いで広がる世界」

創志塾をふり返り、真っ先に思いつくのは言うまでもなく“出会い”だ。創志塾で学校、年齢をこえて魅力溢れる 30 人の仲間に出会えた。個性豊かな仲間達との何気ない会話は私にとって全てが新鮮で、自分の世界が広がったように思えた。こんな素敵な仲間達に出会えた私はなんて幸せ者だろうと感じている。創志塾での出会いはもちろん、経験は私の人生においての大きな財産となった。これからも創志塾で学んだことを力に変えて、夢に向かってつき進みたい。

「楽しい仲間と夢の前進」

「楽しい仲間と夢への前進」これは創志塾からもらった最高のギフトだ。僕は「起業家」ということしか頭になくて、具体的に何をしたいとは何も考えていなかった。しかし、宮原先生や田島先生の講話を聞いて、「人の生活を助ける」という具体的な目標をもてた。また、「ALT との交流」では、起業家に不可欠なコミュニケーション力を養うことができた。第4ステージが終わり8期生も幕を閉じる。でも本当は今からが始まりだ。僕らは世界に飛び立つのだ。

Are you ready?

「前進することの大切さ」

「挑戦なくして成功なし。」私は中学校に入学してから、勉強や部活で忙しい毎日を送っている。いつの間にか「やりたいことをやる」という気持ちが薄れてしまっていた。そんな中で参加した創志塾、様々な講話を聞き、交流することはとても刺激的だった。特に「挑戦」というワードは、私の中にしっかりと残った。そうだ、今こそやりたいことをやろう。創志塾は私に進むべき道を教えてくれたように思う。ここで出会った仲間との有意義な時間を忘れず、強い意志を持ち、日々挑戦しながら成長していきたい。

「視野を広げる」

私は今回創志塾に参加して、広い視野を持つことの大切さについて学んだ。創志塾の仲間たちと何度も様々なことについて話し合う中で、違う立場の人たちが話し合うことにより、新たな発見やより良い意見が生まれるということを知った。また、たくさんの講師の方々のお話を聞き、自分の限界や範囲を決めずに、多くの分野に挑戦したり、様々な視点で物事を見たりすることの大切さに気付くことができた。今回創志塾を通して学んだことを、自分の将来に活かしていこうと思う。

「夢がなかった私」

ただ過ぎていく日々を何となく過ごしていた私。高校生になって漠然とした夢に不安を抱き、進路希望書は私を追ってくるようだった。そんな中、創志塾を知った。学校では自分の夢について考えることなどあまり無い。だが、創志塾では当たり前過ぎていく私たちの毎日に疑問を投げかけてくれた。当たり前前と思っていたものは、人々の行動によって創り上げられたことであることに気付くことができた。感謝を知ることができたこの機会。創志塾に入塾出来て本当に良かったと思う。

「学びを将来へ生かす」

私はこのかごしま創志塾に参加し、様々なことを学びました。鹿児島県の歴史や文化、夢を持つことの大切さ、これから世界へ羽ばたいていくために必要なことなど、この創志塾に参加していなければ学ぶことのできないことをたくさん学びました。この学んだことをまずは学校生活、そして将来に生かしていきたいと思います。様々な仲間や講師の先生方と出会い、とても充実した活動になりました。いろいろなことにチャレンジして、私の夢に向かって全力で毎日を過ごしたいです。

「ラーニング ジャーニー」

「人生はラーニング ジャーニー」これが、創志塾で最も印象に残っている言葉だ。創志塾では多くの貴重な体験を通し、様々なことを学んだ。その中で、学ぶことの大切さや楽しさを改めて感じた。夢を追い、頑張っている仲間たちとの経験は、これからの人生に生きる大きな学びとなったと思う。これらの経験を活かし、学び続け、挑戦し続ける人生にしたいと思う。また、このような貴重な経験をさせてくれた先生方や創志塾生に感謝したい。

「新たな宝」

私は将来、発展途上国などの医療支援を必要とする地域で活躍したいと思っている。だから、かごしま創志塾の様々なプログラムがとても魅力的だったが、実際に参加してみると、自分がいかに無知で実力が無いことを知り、とても悔しい思いをした。だから今、それは自分の課題となり、達成するまで日々頑張る原動力になっている。創志塾でできた新たな友人達から、様々な考え方や解決策などを学び、とても刺激的だった。夢が叶うまで、まだまだ長い道のりだが、創志塾からもらったたくさんの「宝」を大切にしていきたい。

「夢は大きく」

「夢」この言葉は今死にかけている気がします。現実的に考えすぎたり、自分の存在がちっぽけに思え最初からあきらめてしまったり。大きな夢を抱くことが怖くなって、「夢＝自分のやってみたいこと」ではなく「夢＝仕事」と考える人が多いと感じていました。しかし、創志塾に参加して、大きな夢を抱き実現された講師の方々や志の高い塾生のみんなと出会い、多くの刺激を受けました。スマホから離れて大自然の中で仲間と共に協力し、言葉で表せないほどたくさんのことを学び、体感しました。この経験はずっと忘れません。

「挑戦を恐れない、失敗を恐れない」

「挑戦が発明の原点。」この言葉は私の胸に深く刻まれている。挑戦しないと成功は掴めないということは当然であるが、私は今まで失敗を恐れて挑戦を躊躇してきた。しかし、創志塾への挑戦は私の目標を達成するための貴重な経験となった。私は法律の力で社会に貢献したいと思っており、中でも検察官になることが夢だ。創志塾で講話を聞き、社会には解決すべき問題が多数あることを知った。夢を叶えるため、社会に貢献するために仲間と多くの挑戦をしたい。「挑戦を恐れない、失敗を恐れない。」を大切に。

「繋がる世界、誇れる鹿児島」

「日本ってすごい、鹿児島ってすごい」これは私が創志塾での活動を通して強く感じたことだ。世界中で活躍されている講師の方々や留学生の方が鹿児島の自然の美しさや人の温かさを話される度、誇らしさの他にこの素晴らしい環境を未来へと繋いでいきたいという思いが生まれた。共に学び、笑い合った仲間からは新しい視点や考え方、そして一歩踏み出す勇気を分けてもらった。過去を知り、今を生き、未来を変える。三世代にわたる創志塾での学びは私の人生において大きく躍動してくれるに違いない。

「新たな夢へ」

私はこれまで将来の夢も、やりたいことも無く、人と話すのも苦手、どうやって生きていこうと思っていた。そんな自分を変えたいと思い参加した創志塾。その先に広がっていたのはたくさんの仲間、貴重な講話、体験。本当に大切なものをいくつも得たが、その中でも特に心に残ったのが宮原先生の、「なければ作ればいい」という言葉だ。私は心理学に興味があったが、工学系に進もうと思っていた。本当にやりたかったことへの扉を閉ざしていたと気付けたのだ。創志塾で得たものを胸に、夢に進んでいきたい。

「自分を広げる」

私はかごしま創志塾に来て自分が広がったように感じる。多くの講師による地元から世界まで幅広い視点の講話を聞き、メンバーたちと意見を交わしていく中で、自分は持っていなかった意見や考え方、ものの見方を得ることができた。得た中で一番大きなものは「話す」ことだ。自分が思っている以上に人と話すことは大切で、積極的に人と話すことが自分を広げ、成長させてくれることを気付かせてくれた。人に話して笑われるような夢はない。学んだことを生かして将来につなげていきたい。

「私自身の変化」

私が創志塾に入塾した目的は、将来、起業したいといった漠然とした願望を追求していくためだった。起業するのであれば何をするのか。もしかしたら、この創志塾での経験で起業とはまた違った夢や願いが出てくるのかと。期待と不安で挑んだことは今でも忘れられない。この創志塾で、起業家の方々の考え方を学ぶとともに、新たに興味を抱いた分野の大学探しも始めた。入塾するまでと異なり、視野が格段に広がり、なりたい自分が見えてきたように思う。これは私が創志塾に入塾したからこそ得られたものだと感じる。